

イエスは四十日間荒野において、サタンの試みを受けられた。イエスは野の獣とともにおられ、御使いたちが仕えていた。

#### マルコの福音書1章13節

今年のイースターは4月4日です。イースターに向けた準備の期間として教会暦ではレント(受難節)が定められており、聖日を除いた40日間がそれにあたります。

「40」は聖書では特別な数字です。出エジプトにおいてイスラエルの民は40年間荒野を旅しました。モーセがシナイ山に留まった日数やエリヤがホレブ山を目指して歩いた日数は40日でした。そして、イエス様が公生涯に入るにあたり荒野で過ごした日数も40日でした(13)。レントの期間はイエス様が荒野で過ごした日数にちなんで40日と定められたそうです。

イエス様が荒野で過ごした40日間とは、一つにはイスラエルが荒野を旅した40年の旅路の踏み直しと言われます。かつてイスラエルはモーセに率いられてエジプトを脱出したものの、神に背を向けた故に荒野を40年間旅することになりました。荒野の40年とは、神の救いを受け取らなかった人間の失敗の歴史です。

イエス様は荒野でサタンの試みを受けても誘惑に陥らず、それに勝利してかつての人間の失敗を取り返しました。「野の獣とともにおられ」とは、メシヤ支配における究極的な平和の世界を示します(イザヤ11章)。

イエス様の荒野の40日間は、聖書が約束する新しい世界、すべての罪と悪が滅ぼされた救いの完成も示唆しています。そしてそれは、イエス様の十字架と復活によって確かなものとされました。

この世は荒野のような誘惑と試練に満ちています。そこで人間は罪を犯します。或いは経験したくないつらい出来事に遭います。人間は過去を変えることはできず、罪やつらい現実が人間につきまといまいます。しかし、イエス様は十字架でそのすべてを背負い、復活によって希望を示してくださいました。私たちはその救いの恵みを受け取るようにと招かれています。私たちの生涯は神の恵みを受け取り、それに応答する日々です。神が、神の栄光を現し福音を告げる道を私たちに備えておられます。(泰)

■第58回年次総会(教団) 報告

例年は蒲田教会に集まって開催する年次総会も、今年はコロナ禍のためオンライン会議で実施しました。

議事として、2020年度事業および決算報告と、2021年度事業予定および予算案が審議されました。質疑応答や意見交換が行われ、いずれも提案の通りに決議がされました。

昨年はコロナ禍にあつて教団の活動も多くの制限を受け、霊修会や中高生キャンプが中止となりました。今年もコロナ禍の状況を見ながらの活動となります。秋には霊修会を実施したいと計画しています。知恵が求められますから、活動を担う方々が主の助けを得られるようにお祈りください。

任命式では坂本憲子先生が正教師の接手礼を受けました。4月1日付けて大きな人事異動が行われます。シオン6教会と教職者のためにお祈りください。

■2/28 礼拝出席者数報告

第1礼拝 29名、第2礼拝 36名

小学科礼拝 小5名 中高2名

■3/7 礼拝出席者数報告

第1礼拝 29名、第2礼拝 36名

小学科礼拝 小5名 中高2名

【報告 消息】

・本日の礼拝飾花は、中田かね姉の召天(1995年3月12日)を記念して中田ハルヨ姉よりささげられました。

・石田牧師夫妻は、本日の午後に石岡教会役員と新年度について打ち合わせをします。そのため、第二礼拝後に石岡教会に向かいます。

【次週 礼拝説教について】

説教箇所 マルコの福音書6章全体  
(聖書朗読はマルコ6章1〜16節)

礼拝の備えとして聖書を読んで礼拝に臨みましょう。